



発行所
真宗高田派宗務院内
三重県津市一身田町2819
電話 059-232-4171
FAX 059-232-1414
HP www.senjuji.or.jp

発行部数 33,000部

専修寺関東別院

輪番 山中俊之



「空調完備で近代的なお寺」と聞くと、どのようなイメージを持たれるでしょうか。長い歴史を持つている高田本山に普段からお参りされている方ほど、違和感を持たれるのではないのでしょうか。確かに関東別院は長い歴史を有している訳ではなく、いわば現代的な寺院を象徴するものでもありません。しかし関東別院はれっきとしたお寺です。歴史は浅いながらも、お寺であることに変わりありません。それは、歴史だけが寺院たらしめるものではなく、参拝する一人ひとりの心がそうさせているのです。

参拝者一人ひとりが気持ちよく、清々しい気持ちで参拝できる環境。それが今、求められている寺院の姿であると考え、輪番就任以来環境整備を中心に取り組んでまいりました。平成十五年に竣工した檀信徒会館の聞光殿はバリアフリー化されており、本堂に車椅子のままでも参拝できます。境内を彩る蓮の花も育て、高田本山や本願寺へも株分けできるようになりました。

また、平成十八年五月には、ベトナムとして人口が増大している横浜にも出張所を建立しました。こちらは荒廃していた高田派の一般寺院を、本山と関東別院が中心となって復興した寺院です。

関東別院は、第十八世法主圓遵上人時代に江戸神田練屏町（今の秋葉原辺り）に建立されて以来、百八十年ほどの時を経りましたが、横浜出張所乗願寺はスタートしたばかりです。

参拝する者のない寺院は寺院の意味を成しません。都会といういわば、泥の中にこそ蓮は咲きます。高田派のお同行が一丸となって、念仏の声をこの「都会」で高らかにしたい。この願いのもと、お念仏をしております。

六月から八月にかけては、蓮がたくさん咲くことでしょうか。寺院を寺院たらしめるお同行と一緒に、お念仏を相続いたしたく思います。



最高格式を示す 二階建ての山門

宝物館主幹 平松令三

この写真は言うまでもなく本山の山門です。専修寺伽藍の正門です。

建築学ではこういう形式の門を「五間三戸二重二階門」というのだそうです。これは門の支柱の間が五つあって、そのうち三つに扉がついていて、出入り

できるようになっていてからです。このために「三門」と書かれる

こともありま。しかし一山の正門という意味ではやはり「山門」と書くのが正当でしょう。

「二重」というのは屋根が二重になっているからですから当然として、「二階」というのは

当たり前なのに、なぜわざわざ「二階」というのかと

いうと、奈良東大寺の南大門のように

屋根は二重にな

っていても床から

屋根裏まで吹き抜

けになっているものもあるから

のようです。

わが専修寺の山門は、二階に床が

張ってあって、その中央に仏壇があり

大きな釈迦三尊像が安置されています。

向かって左側の文殊菩薩は白い象に乗り、右側の普賢

菩薩は唐獅子の上に座っておられずっしりと安定感があつて、しかも実に優美なお姿の名作です。私は子供のころに、友達と一緒に急な階段を恐る恐る登って拝みに行ったものです。ただし今では危険防止もあつて、御法事の際だけしかここへ入ることはできません。

そんな二階とは反対に、階下には何の像もありません。天台真言や禅宗の山門には、必ず両側に仁王様が立っていて、こわい顔をして睨みつけていますが、真宗寺院の山門にはそれがなく、さっぱりしています。実に静かな山門です。

真宗ではこの形式の山門は、一宗一派の本山だけに許された最高格式の山門です。いくら大きなお寺であつても、本山でなければこれだけの山門を構えることはできないのです。京都知恩院の巨大な山門とは較べるべくもありませんが、そのすつきりと均整のとれた姿とリズムカ

ルな木組みは、他のどこの山門にもひけをとりません。

先年半解体の大修理が行われ、

屋根瓦の銘文から宝永元年（一七〇四年）の建築であることが

判明しました。残念ながら棟梁は誰だかわかりませんが、江戸初期名匠の手になるものと思われ

第四十三回 高田派婦人連合大会

八月二十一日（火）

第二十二世堯猷上人

のお裏方、実明院様のお建夜（八月二十一日）

に、そのお徳を偲びつつお念仏のご縁を広めようと始まりました。

宗祖親鸞聖人と同じかぞえで九十歳になられた女性の方（大正七年生まれ）を祖師寿として表彰します。

会場は津市総合文化センターです。



御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）
電話 (075)371-0854・8181~2番
FAX (075)344-2701番
振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344

京仏壇京仏具・ご本堂内装
お仏具ご修復・お納骨壇



高田本山御用達

京仏具

小堀

本店/京都市下京区烏丸通正面上る ☎(075)341-4121(代)
東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房

無料進呈！ お役に立てて下さい

◆成功談と失敗談に学ぶ 新築・改築のノウハウ「100のヒント」

お申し込みはこちらから フリーダイヤル(本店) 0120-27-9595



仏事のQ&A

しんらんしょうにん

親鸞聖人のご生涯

親鸞聖人の出家得度

親鸞聖人は、治承五年（一一八一）叔父日野範綱卿に伴われ、京都粟田口の青蓮院を訪ねられ、慈円（慈鎮和尚）のもとで得度（剃髪して僧になる儀式）を受けられました。幼名松若丸と言われていた九才の春のことです。

得度の準備が遅れ、夕暮れとなりましたので、慈円が「今日にはもう遅いから、得度は明日にしよう。」とおっしゃった時、聖人は、

明日有りと

思う心のあだ桜

夜半に嵐の

吹かぬものかは

と、和歌を詠まれました。

咲く花のように、人の命も

はかないもの、明日と言わず、

今日、得度してください、と

訴えられたのです。

九才の子供の強い決心に、

心を打たれた慈円は、直ちに

準備をして、その夜、暗くな

ってから得度式をされました。

今も、高田本山では、この

聖人得度の故事を踏まえ、九

才から得度の許可があり、得

度式当日は、御影堂の唐戸を

閉め堂内を夜のように暗くして、

御法主よりお剃刀を受け

けます。

得度を終えられた聖

人は、範叟少納言公と

言う名をいただき比叡

山に上られました。

出家の師慈円は、撰

政九条兼実の弟で、四

たび天台座主となり、

歴史書『愚管抄』の著者

でもあり、歌人として

も有名な方です。一方、

繊細な所もあり、若い

頃は隠遁を漏らすなど

悩んで居られたそうです。

けれども丁度、聖人得

度の年の夏（慈円二十

六才）、失意から立ち直り、そ

の後、華々しい活躍をされま

した。若き聖人は、師の苦惱

からの立ち直りを目撃されて

いたのです。

青蓮院は、境内に親鸞聖人

お手植と伝えられる大きな楠

があり、中には聖人が得度を

された「御得度の間」があり

ます。青蓮院の北側には植髪

堂が有り、親鸞聖人が得度さ

れた時、切り落とされた髪の毛

を植えた像が安置されてい

ます。更に、その堂の北側に

残りの髪を納めた遺髪塔が有

ります。（教学院第三部会）



清掃奉仕ありがとうございました

ごさぐさいまして

汗を流して清掃奉仕

平成十九年

三月 常超院 本照寺

正念寺 迎接寺

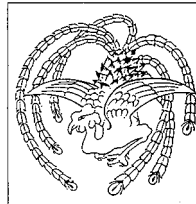
真昌寺 第一一寿会

四月 正覚寺 慈教寺

光善寺

五月 正楽寺 大音寺

誓覚寺



仏壇・仏具
ぬし与

ホーオーが目印！

六代目 (株)ぬし与仏壇店

桑名本店・四日市店・鈴鹿店・蟹江店・大安店・阿下喜店

大恩会

第二世眞佛上人七五〇年忌
第三世顕智上人七〇〇年忌

本寺
平成二〇年三月二八日〜三〇日
本山
平成二〇年四月一八日〜二〇日

現代に伝わる 顕智上人

高田派第三世顕智上人を慕う伝統は、七百年の時を経た今も栃木県の専修寺（本寺）と鈴鹿市三日市の兼帯所で続いています。

両寺の近くにお住まいの方以外にも、本寺の「高田まち」と三日市の「おんない会」を是非知ってもらい足を運んでいただきたく思います。



第三世顕智上人

本寺専修寺の高田まち

本寺輪番 鼎照生

今年もまた高田まちが近づきました。

専修寺三世の顕智上人は門徒の皆さんから親しまれており、また親鸞聖人が帰洛されてから真仏上人とともに関東の門徒の代表として親鸞聖人の教えを守って来られました。その上人が延慶三年（二二一〇）七月四日（新暦八月十二日）突然袈裟と私子を残されて姿を消されました。門徒の方々はびっくりしてあちこちを捜されましたが、ついにお姿がわからず毎日かがり火をたいてお帰りを待たれました。

御影堂では新盆や先祖供養の志をあげられた方への読経が朝から夜中まで十二時間以上も続けられます。また境内では夜八時頃から二宮町に伝わる尊徳太鼓が演奏されます。老人の話によると、昔はサークラスがあり、田舎屋居があり、出店もたくさん軒をならべ大へんな人出で賑ったそうです。今も寺の役員さん町内の皆さんの協力で賑やかに行われます。警察の人や消防団の人々も警備や防災に一生けんめいです。一度高田まちにお詣り下さい。

顕智上人のお帰りをまちにまつた門徒の皆さんの願いはいつの間にか顕智まち（高田まち）となつて高田山の願いとなり年一度の行事となりました。毎年八月一日、本寺周辺から高田派お同行に限らずたくさんの人々が参詣されます。

問い合わせ

本寺専修寺

栃木県芳賀郡二宮町

高田二四八二

TEL

〇二八五―七五―〇二〇三

「現代と仏法を 考える集い」のご案内

ご案内

テーマ「霊？」

日時

八月二十九日（水）
午後一時〜四時

場所

宗務院二階第一会議室

内容

教学院第二部会研究員の報告

特別講演

講師 大峯 顕 師

質疑応答・討論

霊について、仏教・真宗における態度を整理してみようとの集いです。釈尊の「無記」は「無視」ではありません。聖人の「神祇不拜」は「神祇無視」ではありません。

特別講師には大阪大学名誉教授の大峯顕師をお迎えし、「霊」のテーマでお話ししていただきます。

（教学院第二部会）



ご法事のご会食 ご予約承り中

～少人数から団体のお客様まで是非ご利用ください～



お薦め商品(精進+和食ミックス)

本山会席

各種献立よりお選びいただけます。

◇精進料理 1人前 4,000円(税別) ◇本山会席 1人前 3,500円(税別)

お問い合わせ・ご注文は

〒ご自宅までマイクروسで送付(5名より14名様まで)

〒高田青少年会館 TEL.059-232-6079

人気商品 高田本山流 精進料理

世の中安穏なれ 仏法ひろまれ

社寺建造物彩色、障壁画、仏画、絵伝、頂相画、天井画などの制作と修復・復元承ります。その他石工、木地、漆、箔押、鍍金具など、ご相談下さい。

ものづくりの観点から、あらゆる職種の本物の職人による法物制作のお手伝いをします。

絵所

〒514-0114 三重県津市一身田町2819

TEL.059-232-4171 FAX:059-232-1414

(本山宗務院内 絵所)

絵所頭 安川如風



御本山絵所

ごほんぜんえどころ

にょふう

顕智上人とおんない念仏会

眞岡慶光

顕智上人は下野国、高田(栃木県)専修寺第三世として活躍された方で、宗祖門下の善然上人と共に、鈴鹿市三日市に何度も御教化されました。

延慶三年(一一三〇)旧暦七月四日(新暦八月十二日)、八十五歳の顕智上人は、下野国、専修寺本堂へお参りされましたが、その後上人のお姿はなく、線香の香りの中に、鎌倉の大覚禪師から賜った上人愛用の

拂子(獣毛などを束ねて柄をつけたもの)が残されていた。その後三日市の如来寺・太子寺に來られ、ねんごろに説法された後、日没になり、村の

はずれの「一ツ橋」まで村人たちに送られました。そこで別れを述べられ橋を渡られたとたんにお姿が見えなくなっていました。村人たちは悲しみ、お念仏を称えながら雨の中を探しましたが、ついに行方を見つかることはできませんでした。

この時の顕智上人をお探りする村人たちの姿が、今日まで「おんない念仏会」として続いているのです。「おんない」とは「御身無」という漢字をあて、上人のお姿がなくな



ったという意味です。旧暦の七月四日は新暦で

八月十二日にあたりますが、現在は八月四日の夜、傘ぼこ(傘に人形などを飾りつけたもの)や灯笼を持ち、鉦をたいて「おんない念仏」を称えながら、夜八時〜十二時頃まで上人のお徳を偲んで、三日市のゆかりの場所を八箇所巡って行きます。この行事は昭和五十年三月二十七日に三重県無形民俗文化財に指定されました。

「おんない念仏」で歌われる「おんない歌」は五七五七七調で、東組二十八首、西組二十二首、計五十首ありますが、重複しているものが十三首ありますので、計三十七首ということとなります。その中の一つを紹介しますと、「極楽の庭の植木に何がなる 南無阿弥陀仏の六つの字がなる」というものです。

三日市は古代から交通の要所であり、毎月三日(三十三、二十三日)に市が立っておりました。そのよう



前、聖徳太子が創建された如来寺・太子寺があります。この両寺を護持するために六箇寺(現在四箇寺)が建てられました。その後慈覚大師が教化され、天台宗になりました。宗祖親鸞聖人も立ち寄られた(二三五)と伝えられ、顕智、善然両上人も何度か教化されました。如来寺・太子寺は現在高田本山の兼帯所(別院)であり、一光三尊佛及び聖徳太子像を安置し、善然上人座像は明治四十五年二月八日国宝に指定され、現在国の重要文化財であります。

問い合わせ：寿福院
鈴鹿市三日市二丁目三二二二
〇五九一三八三一二二一〇

緑と共に75年

三重県知事免許認可
(一級造園技能士)造園・庭園管理

山本造園

代表 山本 進一郎

津市栗真小川町 869-77

TEL 232-7453

FAX 232-7453



高田本山御用達
三重県仏教会御推薦

石碑
記念
燈籠



高級御影石専門店

御影石材株

(石に御用の方は) イレニゴキョウ
☎0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前)
☎059-224-1700(代)

リレー法話

孫

和田 雅治

ことわざ辞典にて「孫」を引くと、

- ① 孫飼わんより、犬の子飼え
- ② 孫に手を引かれて牢屋
- ③ 孫は子よりも可愛い

とあり、この語句の意味は祖父母が孫をかわいがることの甚だしいのをいうと書いてあります。

孫は無条件で可愛い、まるで仏様です。三才の孫と同居してはいますが大人を動かす力は、まるで願力です。日々晩酌がお互いの日課であり、ジジが酒、孫が牛乳を乾杯で夕食が始まります。

また、叔父よりもらった阪神タイガースのユニホームとバットで、六十路を超えて足がフラフラになりながら遊んでいきます。世の祖父母が言われるように、子どもを育てていた時代はこんな精神的余裕はなかったのに、どうして孫となると違うんでしょうと云われる言葉がしみじみ

味わえます。

さて、北の大地の果てに住んでいる所さえ波が押し寄せ、孫を抱かせてもらえないと泣いている祖父母がおられます。実直なご夫婦だけに胸が痛みます。話を聞きますと価値観が違ふからと一言で片付けられ最近では家にも寄り付きませんと嘆いておられます。



「子を持って知る親の恩」
祖父母の慈悲はどうして若夫婦に届かないんでしょう。孫のことで祖父母が疎外されている話をよく聞きます。

またある家庭では孫と会えるのは年一回、しかも正月にお年玉をもらったなら食事もしないで帰ってしまう。一体どうなっているんだと怒りを感じておられます。ほのぼのとした話を聞くこともめっきり

少なくなりました。親子で問題が起こるとよく社会が、いや家庭が悪いといえます。よくよく味わうと自分の意志が問題になってないからです。自己に問う世界「私だったら」と問うていけば責任転嫁することなく祖父母に子供として育てられた御恩を少しはわかってもらえると思います。

古来より親から子へ子から孫へと法脈として伝えられていられるお念仏の法灯は身体に染み込んでいます。染み込んだものは仲々とれません。だからいつも心にブレーキが掛かっている暴走はないのです。最近の親子にまつわる事件を聞くたびにこの思いが強くなります。

大ヒットした「孫」の歌詞の一節に
仕事いらずで果たせなかった
親の役割代わりの孫に
今は返しているところ
とあります。

最後に孫にお念仏を染み込ませるのはジジの役割であり、いつか孫と一緒に南無阿弥陀仏と称名出来る日を楽しみつつ、あてにならないものをあてにしています。

(北海道 誠満寺住職)

歴史まるごと体験塾

八月七日〜九日

小学五、六年生を対象に、津市教育委員会文化課、一身田商工振興会と協力して高田本山境内及び寺内町を会場に二泊三日の体験学習を行います。

テレビやテレビゲームの無い非日常的生活の中で、本山内にある食堂に宿泊し、江戸時代をイメージした食事をして、和菓子やコンニャクを実際に作って食べたり、地元の伝統芸能や竹とんぼ、独楽回し、おはじき等の「むかしあそび」等々さまざまな体験をします。

参加費用は、九千円で、七月十三日までに申し込んでください。

参加の申し込み、お問い合わせは津市教育委員会文化課まで。
TEL 〇五九一三三九一三五〇



- お墓
- 寺標
- 墓地移転
- 霊園開発造成

高田本山御用達
石匠位認定店
全国優良石材店、認定店

創業100余年

株式会社 **ストーンズ 石仙**

(旧(有)山本石材店)
四日市市近鉄阿倉川駅前
☎0593-31-4114
サイコーイン

高田本山御用達

井筒法衣店

京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
(〒600-8503) 電話 (075)351-1234(代)

フリーダイヤル ☎ 0120-075-720
フリーダイヤルFAX 0120-075-490

ご和讃のお話

生桑 崇等

濁世の起悪造罪は

暴風駛雨にことならず

諸仏これをあわれみ

すすめて浄土に帰せしめり

(道綽禪師第五首)



このご和讃は七高僧の第四祖である道綽禪師が書かれた『安樂集』を依りどころとしています。

前号でも取り上げられましたが、道綽禪師は末法と呼ばれる時代に生まれ、十四歳で出家されたその翌年には廃仏の法難に遇い還俗（出家し僧籍を持った人が一般の生活に帰ること）させられてしまいます。道綽禪師が生きた時代末法という時代背景と争いの絶えない社会の現実を見つめられ、自らの生きるべき道を求められました。そして曇鸞和尚の碑文と出遇い、この濁り乱れた時代においては、決して自力の行によつては成仏できないと痛感され、自分には他力念仏の道しかないと思ひ受け止め浄土門に帰依されたのです。その熱心な念仏生活は善導大師をはじめ多く

の人々の心をとらえ遠方からも道綽禪師を慕つて参集したと伝えられています。道綽禪師が生きた末法という時代には五濁（五つの濁り）があるといわれています。この五濁とは劫濁（悪に満ちた時代相になること）・衆生濁（人の心が邪悪になること）・見濁（自分の悪に気付かず、他人の正しさも認識できないこと）・煩惱濁（迷いや欲望のために、何につけても、むさぼり・怒りの心をおこすこと）・命濁（いつくしむことを知らず、自分の命も他人の命も粗末にする）のことです。今回のご和讃でも前半の部分で「濁りきつた世の中で悪を行い、罪を作ることは、自然界に起こる暴風やにわか雨のようなもので防ぎようのないものである」とおっしゃられております。最近のニュースを見ていると悲しい事件が毎日のように報じられています。現代は科学も医学も発達し食料も豊富で生活が豊かになった反面、ものを粗末に扱つてしまうようになり限りのある一つしかないのちをも軽視してしまつていくように思います。そして私たちはその自らの姿にも気付かず毎日を送っています。まさに濁世を生きているといえるのではないのでしょうか。すべてのほとけさまがたはこの濁世に生きる私たちを憐れんで本願にまかせ浄土の教えに帰依することをすすめられております。

(津市来照寺衆徒)

午前九時より開講
(但し初日は九時半より開講式)

一日 御親講 法主殿

二日

時空を超える仏教美術

―インドからパーミヤンへ―

名古屋大学教授 宮治 昭先生

三日

唯信の仏道

―『唯信鈔』に学ぶ―

大谷大学教授 安富信哉先生

四日

智慧と慈悲の形

―現代に釈尊へ還る―

駒沢大学名誉教授 奈良康明先生

五日

親鸞聖人の聖徳太子への賛仰

真宗高田派輔講

高田高等学校教諭 梅林久高先生

これからの本山諸法会

◆ 歡喜会

八月十四日～十六日

晨朝 午前七時より

日中 午前十一時半より

◆ 讚佛会

九月二十日～二十六日

晨朝 午前七時より

日中 午前十一時半より

(二十三日は勤行後に御親教)

これからの本山諸行事

◆ 第八十一回 仏教文化講座

八月一日～五日

浄土真宗は 目覚めの宗教

白川晴顕著
浄土真宗は目覚めの宗教、阿弥陀さまの見方と大きな温もり、親鸞聖人と常識を超えた教え、御正忌報恩講に寄せて、愚かになつて卒業等二十数篇の法話 定価1200円税込

仏と人 40

無名会同人編
四天王寺の海 源義春／お仏飯を歌う 南部 松雄／人生の最終コーナー 太田信隆／何を担ぐのか 森正隆／救いというところ 一とくとくに現生正定聚をめぐつて 梯實圓／尋常に非ず 臨終に非ず 高田慈昭／世の中安穩なれ 足利孝之 定価410円税込

他力の信心は awakeか

稻城選患著
定価500円税込

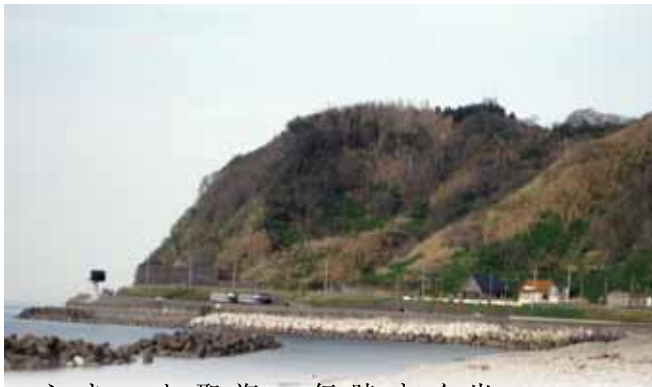
静的宗教と 動的宗教

稻城選患著
定価500円税込

白道をゆく

梯 實圓著
善導大師の生涯と信仰― 定価2520円税込

600 8342 京都市下京区花屋町西洞院西入
F A X 電話 0755-33711・966551
振替 01502004993361



木浦海岸

新潟県糸魚川市木浦

JR北陸本線能生駅から海岸に出で、二キロほど道沿いに西に行くと木浦という小さな町があります。親鸞聖人が越後国府に向かう時、この海岸から舟に乗られたと伝えられています。

海岸から越後の方角を見ると、海のすぐ前まで山が迫っていて、聖人がここから先は海路を進まれたというのうなずかれます。現地には案内看板も碑文もなく、また地元の人に聞いてもあまり知られていない隠れた旧跡です。



居多ヶ浜

JR直江津駅北口から出ると「親鸞聖人ゆかりの地」と書かれた幟をあちらこちらで見かけます。親鸞聖人の旧跡は、この駅から西へ歩いて三十分ほどの所にあります。

聖人が、舟で越後に入られた場所伝えられる居多ヶ浜は、現在海水浴場になっています。海を望む高台には「親鸞聖人上陸の地」と書かれた札と浜を見下ろす聖人像そして「見真堂」と名付けられた小さなお堂があります。近くには本願寺国府別院と国分寺があり、聖人が住まわれたといわれています。

親鸞聖人流罪八百年

今年二〇〇七年は、親鸞聖人が流罪になられてから数えて、八百年になります。

承元の法難（浄土宗では建永の法難）といわれるこの事件について、親鸞聖人は『教行証文類』の最後（後序）に、源空（法然）上人と何人かの門弟が理不尽な罪状によって死罪や僧籍剥奪の上に流罪になったこと、その中に自分もふくまれていることを書いておられますが、それ以上は何も述べられていません。

聖人が亡くなられた後に書かれた『歎異抄』の中には三

編集後記

数年前に、韓国の金泉にある直指寺という立派なお寺に泊めて頂いたことがあります。翌朝、お坊さんの格好で境内を歩いていると、参拝に来られたおじいさんと小さなお孫さんに丁寧な挨拶を受けました。私も挨拶を返して見送ると、二人は近くにある仏塔の前で立ち止まり合掌礼拝しています。

私は、お名号や仏像、お堂

十五歳の時に越後国に流されたことが、『親鸞聖人伝絵』には越後国の国府（現在の上越市内）に流されたことが書かれています。やはりそれ以上のことは書かれていません。

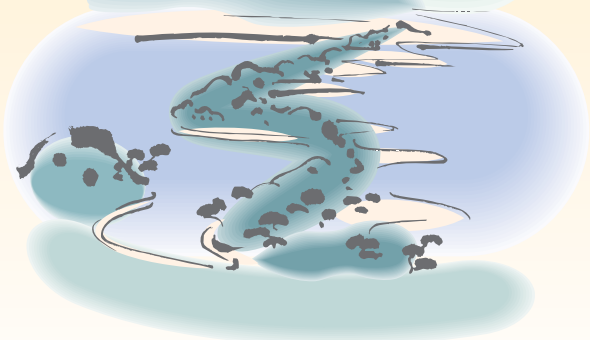
詳しいことがわからない親鸞聖人の足取りを、なんとか知ることができないかと思うのは昔の人たちも同じのようで、聖人の通られたであろうと思われる場所が旧跡となっています。

上でご紹介した場所も真偽の程は不明ですが、苦難に遭われた親鸞聖人に思いをよせて、旅が自由にできない時代にもかかわらず、京から越後までの長い道のりを実際に歩いた

の前などで合掌する習慣はありますが、その仏塔には気付かず、直前に素通りをしていました。僧侶の格好をしていただけに恥ずかしいかぎりです。

あの二人は、僧侶の格好を

先人たちの思いが伝わってきます。



していながら、仏塔の前を素通りした私を見ていたのでしょうか。もし見ていたならば、どのように思われたのでしょうか。今思い出しても顔が赤くなります。

寺院名